



2011年2月18日

報道関係各位

株式会社文化放送
クワトロメディア株式会社

文化放送とクワトロメディアが 「スマートフォンに関する意識調査」を実施

株式会社文化放送(本社:東京都港区、取締役社長:三木明博、以下文化放送)と、クワトロメディア株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:甲賀武、以下クワトロメディア)は、共同運営する公式携帯サイト「モバイル文化放送」にて有料会員向けに昨今話題となっているスマートフォンに関する意識調査アンケートを実施しました。

「モバイル文化放送」では、今後のスマートフォン対応を検討していくにあたり、ユーザーのスマートフォンに関する意識の把握を行うため、本アンケートを実施したものです。

■トピックス

1. 「スマートフォン」について

・モバイル文化放送ユーザーにおいてスマートフォンを利用しているは、全体の1割程度である。しかしながら、スマートフォンを保有していないユーザーの実に3割が、スマートフォンへの置き換えを予定している。

・よって、既存のユーザーも含め、実に全体の約4割がスマートフォンユーザーになる可能性がある。

・変更を予定していないユーザーが、その最大の理由として挙げるのは「スマートフォンの良さがわからない」という点である為、今後スマートフォンの利便性が広く認知されれば、購入に進む可能性がある。

・現在保有しているスマートフォンでは、iPhoneが圧倒的に多いが、今後購入を希望するスマートフォンとしては、Android(ドコモ)が最も多い。今後Androidアプリのニーズが高まってくることが想定される。

2. 「radiko」について

・「radiko」に関しての認知度は全体の98%と非常に高く、利用頻度・満足度も高い。

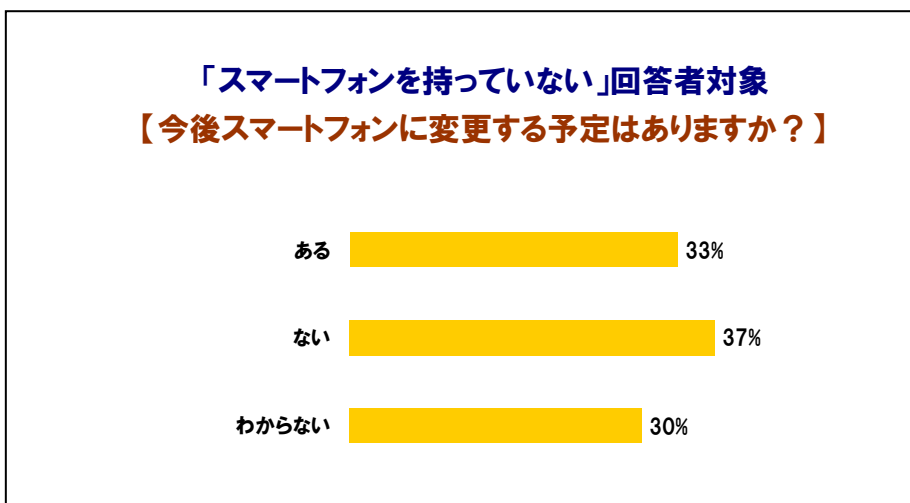
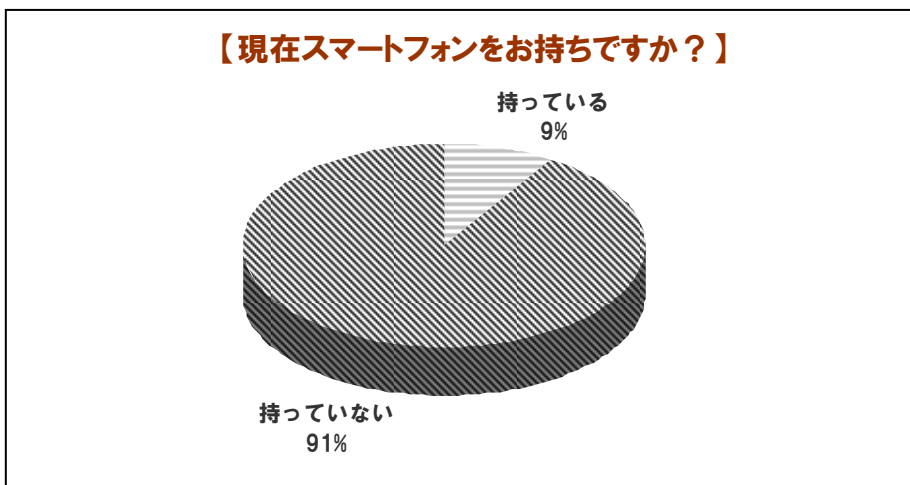
今回の意識調査により、改めてユーザーのスマートフォンへの関心が高いことが判明しました。文化放送とクワトロメディアでは、スマートフォン向けサービスの早期対応が必要であることを認識、スマートフォン向けに様々なアプリ、コンテンツの提供を積極的に進めてまいります。

■調査概要

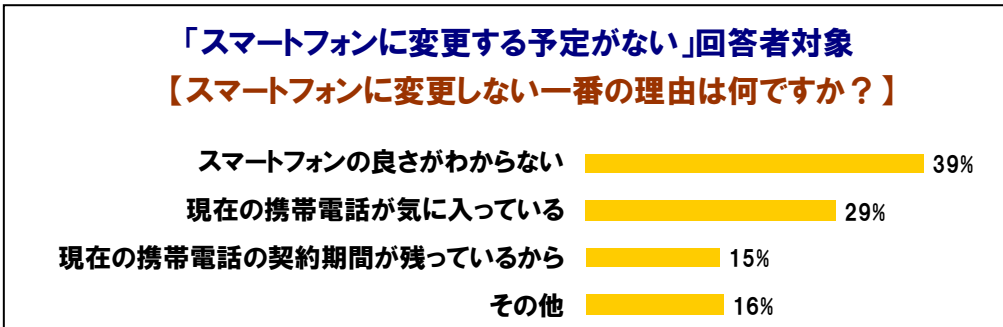
調査内容： スマートフォンに関する意識調査
実施期間： 2011年1月27日～2011年1月31日
調査方法： モバイル文化放送有料会員向けに、サイト内アンケートにて実施
有効回答数： 459人
回答者属性： 男性35%：女性65%

■調査結果

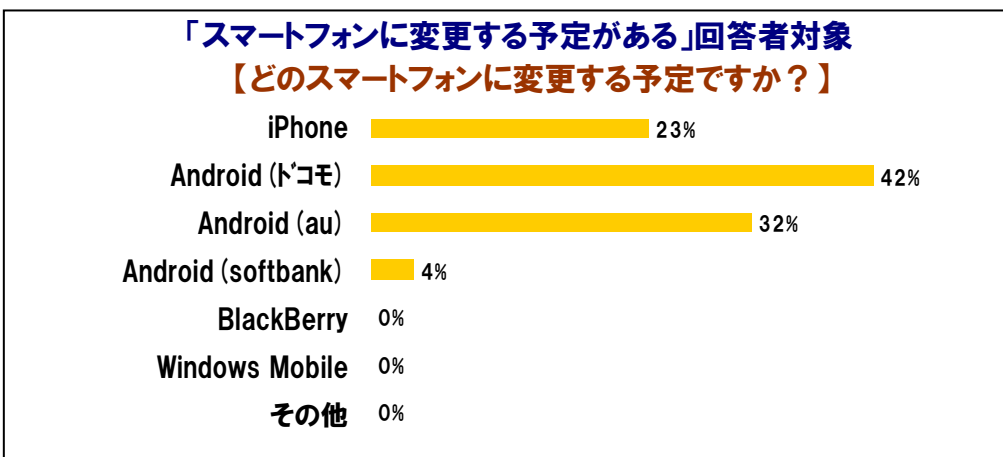
・全体の4割がスマートフォンユーザーになる可能性がある。



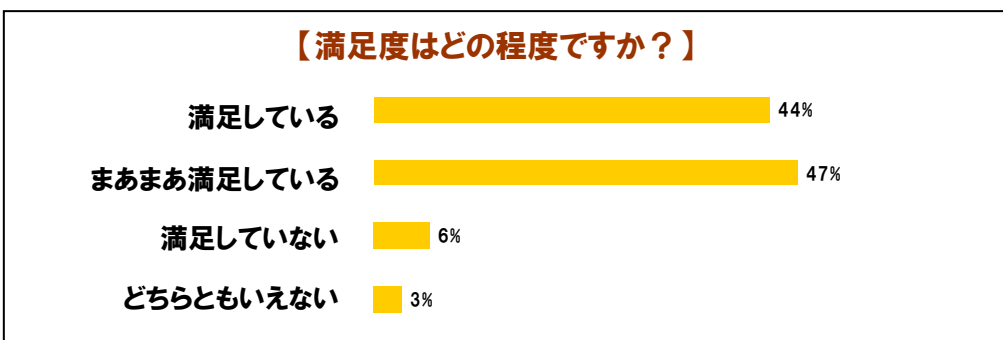
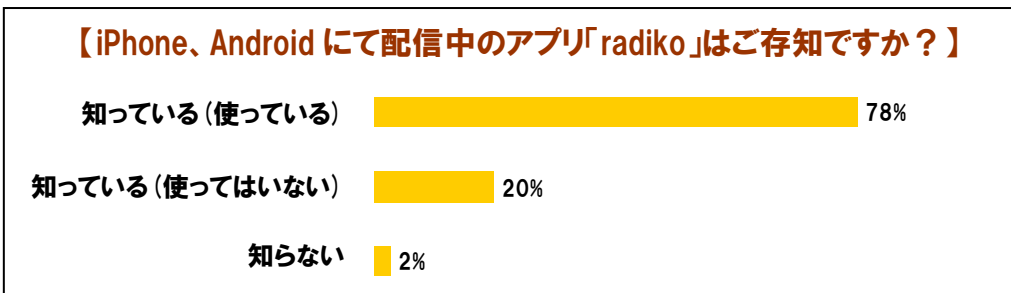
・変更を予定していないユーザーの最も多い理由は「スマートフォンの良さがわからない」



・今後購入を希望するスマートフォンでは、アンドロイド(ドコモ)が最も多い。



・「radiko」に関する認知度は全体の98%と非常に高く、利用頻度・満足度も高い。



＜報道関係者様からのお問い合わせ先＞
クワトロメディア株式会社 放送・メディア事業部
放送ソリューション・グループ 坂爪 03-6229-9882